

No	発行・刊行年月日	編者・書名・出版社 ※各章[執筆者]は別表[詳細表]に記載
1	1972年1月1日	経済学基礎理論研究所編『現代日本経済入門』汐文社 ※経済学基礎理論研究所(旧名称)名での初出本 ※「あしがき」に経済学基礎理論研究所理事長代行重森暁名で、研究所の成り立ち・運動原則が書かれている
2	1973年6月1日	池上博編『現代世界恐慌と資本輸出』青木書店 ※経済学基礎理論研究所編集委員会「現代世界恐慌と資本輸出」プロジェクトの研究結果 ※「あしがき」に経済学基礎理論研究所の共同研究による第二作目であることが記載されている
3	1975年1月15日	池上博・坂井昭夫・林堅太郎編『現代日本資本主義の政治経済機構』労働経済社 ※経済学基礎理論研究所編集委員会が企画・編集に参加して、『労働経済旬報』誌連載を骨格として出版
4	1976年7月20日	基礎経済科学研究所・坂井昭夫編『日本の経済危機<1970年代「大不況」の性格と展望>』労働経済社 ※基礎経済科学研究所(旧名称・経済学基礎理論研究所)の編集部会による研究創造活動の一環で企画・公判、と記載 ※基礎経済科学研究所の名称での初出本、『労働経済旬報』連載「今次の不況の分析」を再編集・構成
5	1977年4月10日	基礎経済科学研究所年表編集委員会編『資本論・帝国主義論年表』基礎経済科学研究所 ※基礎研夜間通信研究科の「資本論・帝国主義論講義」の便宜に資するように編集された年表 シリーズ:島恭彦監修『講座・現代経済学』全6巻 ※編集委員会代表:池上博・尾崎芳治・中村哲・野村秀和 ※危機的な「経済の時代」に対して、人間の全面的発達への道を科学的に探究しようとする企画
6	1978年3月1日	島恭彦監修『経済学入門』(講座・現代経済学 第1巻)、青木書店
7	1978年9月1日	島恭彦監修『資本論』と現代経済(1)』(講座・現代経済学 第2巻)、青木書店
8	1978年12月20日	島恭彦監修『資本論』と現代経済(2)』(講座・現代経済学 第3巻)、青木書店
9	1979年7月1日	島恭彦監修『帝国主義論』と現代経済』(講座・現代経済学 第4巻)、青木書店
10	1981年4月1日	島恭彦監修『現代経済学論争』(講座・現代経済学 第5巻)、青木書店
11	1982年4月1日	島恭彦監修『現代日本経済論』(講座・現代経済学 第6巻)、青木書店
12	1981年6月22日	重森暁編『地域のなかの公務労働』大月書店 ※自治体論学科が執筆者の中心に企画・出版、夜間通信研究科の学科による初めての企画・出版
13	1982年12月15日	基礎経済科学研究所編『人間発達の経済学』青木書店 ※1978年『講座・現代経済学』での「人間発達の経済学」とは何かという問いを受け、企画された
14	1985年5月30日	*森岡孝二・林堅太郎・佐々木雅幸編『入門現代の経済社会—日本と世界の明日はどうか—』昭和堂 ※基礎研が企画協力
15	1985年7月15日	成瀬龍夫・小沢修司編『家族の経済学』青木書店 ※『人間発達の経済学』につづく「発達の経済学」研究の共同成果!と表記
16	1986年9月20日	森岡孝二編『勤労者の日本経済論—構造転換と中小企業』法律文化社 ※大阪第三学科が企画・出版、夜間通信研究科の学科による二つ目の企画・出版
17	1987年3月1日	基礎経済科学研究所編『労働時間の経済学』青木書店 ※『人間発達の経済学』『家族の経済学』に続き、長時間労働制限と労働時間短縮が緊急の国民的課題との認識で企画 シリーズ:基礎経済科学研究所編『講座・構造転換』全4巻 ※前シリーズ『講座・現代経済学』での経済理論と日本経済分析に続き、日本経済の構造転換分析を主題とした新講座
18	1987年7月1日	基礎経済科学研究所編『国際化のなかの日本』(講座・構造転換 第1巻)、青木書店
19	1987年7月5日	基礎経済科学研究所編『変わる労働と生活』(講座・構造転換 第2巻)、青木書店
20	1987年8月1日	基礎経済科学研究所編『人間発達の民主主義』(講座・構造転換 第3巻)、青木書店
21	1987年9月5日	基礎経済科学研究所編『経済学の新展開』(講座・構造転換 第4巻)、青木書店
22	1989年9月30日	基礎経済科学研究所編『ゆとり社会の創造—新資本論入門12講』昭和堂 ※基礎研「資本論講座」から生まれた本、1978年『講座・現代経済学』第2・3巻を踏襲した分かりやすく新しい資本論入門書
23	1991年3月30日	林堅太郎・大西広・佐中忠司編『新編・現代の経済社会—21世紀へのトレンドを考える—』昭和堂 ※『入門・現代の経済社会』(1985年)の全面改訂版、基礎研が発案・企画 シリーズ:『今日の世界経済と日本』全3巻 ※1980年代の日本経済を考察した『講座・構造転換』の姉妹編として、1990年代の日本を軸においた世界経済論として企画
24	1992年10月1日	関下稔・森岡孝二編『世界秩序とグローバルエコミー』(今日の世界経済と日本 第1巻)、青木書店
25	1992年10月20日	奥田宏司編『ドル体制の危機とジャパンマネー』(今日の世界経済と日本 第2巻)、青木書店
26	1993年9月1日	中村雅秀・林堅太郎編『日本経済の国際化とアジア』(今日の世界経済と日本 第3巻)、青木書店
27	1992年10月5日	基礎経済科学研究所編『日本型企業社会の構造』労働旬報社 ※日本型企業社会の変革に必要な課題の究明への基礎研による共同研究の成果
28	1993年7月20日	*木原正雄・溝端佐登史・大西広編『経済システムの転換—20世紀社会主義の実験—』世界思想社 ※基礎研が企画を援助した「あしがき」に記載
29	1993年7月20日	基礎経済科学研究所編『戦後経済学を語る—わが青春の経済学』かもがわ出版 ※基礎研創立25周年記念事業として企画、『経済科学通信』上の各氏へのインタビュー連載記事を編集・出版
30	1994年2月10日	森岡孝二編著『現代日本の企業と社会—人権ルールの確立をめざして』法律文化社 ※大阪第三学科が企画・出版
31	1994年2月25日	基礎経済科学研究所編『文化中心社会の条件—日本型企業社会からの自立』労働旬報社 ※1992年夏の研究大会(奈良・明日香村)でのメインシンボがこの本の企画の発端
32	1994年11月25日	基礎経済科学研究所編『人間発達の政治経済学』青木書店 ※1982年『人間発達の経済学』の改稿作業の産物、単なる改訂ではなく、すべてを新しく書き改めた
33	1995年9月30日	シリーズ:基礎経済科学研究所編『働く女性と家族のいま』全2巻 ※ジェンダー視点に立った日本型企業社会論の最初の集团的試み
34	1995年9月30日	基礎経済科学研究所編『日本型企業社会と女性』(働く女性と家族のいま 1)、青木書店
35	1995年9月30日	基礎経済科学研究所編『日本型企業社会と家族』(働く女性と家族のいま 2)、青木書店
36	1998年4月20日	基礎経済科学研究所編『地球社会の政治経済学』ナカニシヤ出版 ※『地球社会の政治経済学』で論ずべきテーマを体系的・網羅的に論じた入門書
37	1999年1月20日	基礎経済科学研究所編『新世紀市民社会論—ポスト福祉国家政治への課題』大月書店 ※『経済科学通信』編集局が『経済科学通信』掲載論文と新規依頼論文で編集・企画
38	1999年12月15日	*池上博・森岡孝二編『日本の経済システム』青木書店 ※基礎研活動に参加してきた執筆者で構成、「あしがき」に基礎研運動とその理念が書かれている
39	1999年10月31日	鈴木茂・大西広・井内尚樹編『中小企業とアジア』昭和堂 ※1997年3月春季研究交流集のシンポジウムを契機に基礎研所員が中心となって企画・出版
40	2003年3月10日	大阪第三学科『変化のなかの企業と社会—労働者の経済学を求めて—』(大阪第三学科開講25周年記念) 発行:基礎経済科学研究所自由大学院大阪第三学科(金融・流通・協同組合論ゼミ) ※大阪第三学科開講25周年を記念して、大阪第三学科が企画・出版
41	2005年7月25日	*池上博・二宮厚美編『人間発達と公共性の経済学』桜井書店 ※「発達の経済学」1982年本、1994年本に続く、「発達の経済学」第三バージョンとして編者が企画・出版
42	2006年10月30日	人間発達ゼミ『市民が創る経済学』をめぐって』(人間発達ゼミ30周年記念論集 1) 発行:基礎経済科学研究所人間発達ゼミ ※人間発達ゼミ30周年を記念して、人間発達ゼミが企画・出版
43	2007年9月28日	森岡孝二編『格差社会の構造—グローバル資本主義の断層』桜井書店 ※大阪第三学科が企画・出版
44	2008年6月30日	中村浩爾編『アダム・スミス』法学講義Aノートを読む』基礎経済科学研究所自由大学院・社会思想史ゼミ 発行:基礎経済科学研究所自由大学院 ※社会思想史ゼミが企画・出版
45	2008年12月25日	基礎経済科学研究所編『時代はまるで資本論—貧困と発達を問う全10講』昭和堂 ※創立40周年を迎え、1989年『ゆとり社会の創造—新資本論入門12講』の全面改訂版として企画
46	2010年9月21日	基礎経済科学研究所編『未来社会を展望する—甦るマルクス』大月書店 ※基礎研「40周年記念出版事業」のひとつとして研究大会・春季集会での報告・討議を経た成果
47	2011年3月1日	基礎経済科学研究所編『世界経済危機とマルクス経済学』大月書店 ※「地球と日本の将来に道筋をつけてゆく科学」への挑戦としての基礎研の研究プロジェクトの成果
48	2012年1月31日	中村浩爾・基礎経済科学研究所編『アダム・スミス』法学講義Aノートを読む』文理閣 ※社会思想史ゼミが企画・出版、基礎研より出版助成
49	2012年4月5日	森岡孝二編『貧困社会ニッポンの断層』桜井書店 ※大阪第三学科が企画・出版、基礎研より出版助成
50	2012年12月25日	和田幸子編『変貌するアジアと日本の選択—グローバル化経済のうねりを越えて—』昭和堂 ※東南アジア経済社会論ゼミが企画・出版、基礎研より出版助成
51	2014年3月11日	後藤宣代・広原盛明・森岡孝二・池田清・中谷武雄・藤岡惇『カタストロフィーの経済思想—震災・原発・フクシマ—』昭和堂 ※2013年3月16・17日、福島での基礎研春季研究交流集会での報告をもとに企画・出版